



Windchill+及び ThingWorx Navigate for Windchill+ サービス記述書

Windchill+ オファリング及び ThingWorx Navigate for Windchill+ オファリング の使用には、[SaaS 基本契約](#)（以下「本契約」といいます）の諸条件のほか、以下の追加の諸条件が適用されます。以下に定義されていない大文字の用語は、本契約で定義されている意味を有します。

定義されている用語

「アクティブデイリーユーザー」は、任意の 1 暦日 24 時間以内に PTC Navigate にアクセスする固有のユーザーの数に基づいて使用許諾されます。例えば、あるユーザーが ThingWorx Navigate のアプリケーションに、月曜日に 3 回及び金曜日に 2 回アクセスした場合、当該ユーザーは、それぞれ月曜日及び金曜日について単一（1 つ）のアクティブユーザーとして数えられます。基準となる 24 時間については ThingWorx サーバーに設定されているタイムゾーンによって定義されます。

「デモ及びテスト」：「デモ及びテスト」又は「非生産」を原則として（又は同様の指定に基づき）使用許諾される製品であり、当該許諾ソフトウェアを生産環境において使用することはできません。

「キオスクユーザー」ライセンスは、ThingWorx Navigate と Windchill+において、1 台のデバイス（例えば工場の作業現場）を閲覧のみの権限を持つ登録ユーザーとして扱うことができます。このライセンスは、複数の現場作業員用に個別の登録ユーザーアカウントを維持することを希望しないお客様による使用を目的としています。ThingWorx Navigate キオスクユーザーからの Windchill+へのリクエストは、閲覧のみで、ライセンスが割り当てられた単一のデバイスから発信された場合のみ有効です。

「環境単位」とは、当該製品のインスタンス数に基づいて契約されることを意味します。例えば、お客様が当該製品を含む本番環境のインスタンスを 2 つ持ちたい場合、2 つのライセンスが必要となります。同様に、お客様が当該製品を含む本番環境と 2 つの非本番環境を持ちたい場合、3 つのライセンスが必要となります。環境単位で契約されるオファリングは、品目の説明に「環境単位」という文言があることにより識別されます。

「登録ユーザー」とは、本契約で定義された意味を有します。

データのエクスポート

サービス終了日が判明した時点で、お客様は最大 2 回のデータエクスポートを要求することができます：
(1) サービス終了日の前に、お客様の新システムへのデータの入力をテストする目的でエクスポートする場合、及び (2) サービス終了日に最終的にエクスポートする場合。お客様はこのようなリクエストを PTC と調整するものとします。データエクスポートには、そのままのソフトウェア構成を別の環境に再展開するために必要な情報が含まれています。ただし、お客様は PTC と契約することにより、追加料金を支払って標準では提供されないデータエクスポートを追加することができます。PTC は、お客様のデータを最後の抽出から約 30 日間保管し、その後破棄します。この 30 日間は、お客様のご要望に応じて、アーカイブされたデー

タのコピーを 1 部提供することができます。正当な手続きに沿った Windchill データエクスポートの場合、データのエクスポート形式には、データベーススキーマのエクスポート、Directory LDIF のエクスポート又は類似のユーザーリストのエクスポート、Enterprise LDAP LDIF のエクスポート、外部ファイルボールドのコンテンツのうち、該当する項目が含まれます。

バックアップ及び復元

システムの完全バックアップは毎日行われ、地理的に冗長な (Geo 冗長) 場所に保管されます。本番システムのバックアップは 30 日間維持され、非本番システムのバックアップは 7 日間保存されます。PTC は、ライセンス製品を通じて削除された個々のファイルを復元することはできませんが、お客様のご要望に応じて、バックアップからシステムの完全な復元を行うことができます。

災害復旧

大規模なサービス停止が発生した場合、PTC は影響を受けるお客様と協力して、災害復旧プロトコルを実施すべきかどうかを判断します。必要な場合、本番システムの復旧時点目標 (RPO) は 24 時間、復旧時間目標 (RTO) は 5 日間とします。非本番システムは、すべての本番システムが完全に復旧した後、可能な限り迅速に復元されます。

セキュリティ及びデータプライバシー

本サービスのセキュリティプログラムに関する情報は、[PTC トラストセンター](#)に掲載されています。

本サービスの一部として収集されるデータに関する情報は、<https://www.ptc.com/en/documents/policies> にあります。

ユーザーID 管理

すべての Windchill+ オファリングでは、ユーザー認証にお客様が管理する Identity Provider (IdP) を使用する必要があります。お客様は、PTC Central Authentication Server (CAS) と IdP を統合するために必要な設定情報を PTC に提供する責任を負います。詳細については、Windchill+ Engagement Guide (https://support.ptc.com/help/windchill_engagement_guide/r12.1.2.0/en) の Implement > Solution Customization (Configure/Customize) の「Initial System Configuration」セクションを参照してください。

統合及びカスタマイゼーション

PTC は、PTC がホスティングすることについて本注文書で具体的に合意されない限り、カスタマイゼーション又はカスタムアプリケーションをお客様用にホスティングする義務を負いません。<https://support.ptc.com/help/windchill/plus/r12.0.2.0/en> に掲載されている Windchill+ Help Center には、許可されるコンフィグレーション、カスタマイズ、及び統合が明記されています。当該文書に記載されていないコンフィグレーション、カスタマイズ及び統合は許可されません。

バッチ

ユーザー数に基づいて使用許諾されるライセンスタイプ (登録ユーザーや同時ユーザーなど。ただしキオスクユーザーは対象外) の場合、当該許諾製品若しくはそこに含まれている機能又はデータへのアクセス (直

接的であるか、又はウェブポータルを通じて、又は許諾製品若しくはそのデータを「バッチ」し、その他それらへの間接的アクセスを実現する他の機構を通じてであるかを問いません）をする個人ごとにライセンスが必要です。共通又は共用のログインは、認められません。上記を制限することなく、PTCの書面による明示的な許諾がない限り、お客様は、社内使用であるか外部配布であるかを問わず、サービスのアプリケーションプログラムインタフェースを（直接的に、またはお客様もしくは第三者が作成したアプリケーションを介して）使用して、人工知能（AI）モデルのトレーニング、微調整、作成を目的としてサービスからデータを抽出したり、RAG（Retrieval Augment Generation）などのデータソースを構築したりすることは明示的に禁止されます。お客様が当該許諾を得た場合、当該 AI モデル又はデータソースを活用するアプリケーションのすべてのユーザーは、当該ユーザーが実際にサービスに直接アクセスするか否かに関わらず、サービスの登録ユーザーライセンスを取得する必要があります（また、お客様が上記制限に違反する行為を行った場合、当該ユーザーに登録ユーザーライセンスを割り当てる義務は、PTCの唯一の救済措置ではないものとします）。また、当該 AI モデルまたはデータソースを利用するアプリケーションのすべてのユーザーは、各サービスの PTC がサポートする API のみを使用する必要があります。両当事者は、本サービスがデータを構造化する方法および各データベースは独占的なものであり、かかる AI モデルまたはデータソースを活用するアプリケーションで本サービスにアクセスすることを PTC が許可しても、かかるデータ構造およびデータベースの独占的な性質を損なうものではないことを認めます。

Windchill+

はじめに

本オファリングは、以下に示す PLM の包括的な機能を含む SaaS 環境をお客様に提供し、外部システム（ERP や CRM など）との統合をサポートします。オプション環境又はオプションサービスが別途購入可能です。

オファリングに関する基本事項

Windchill+ は「登録ユーザー」単位での契約となります。購入可能な登録ユーザーのプロファイル（設定）の種類として、Viewer、Contributor、Author が定義されています。Author ライセンスのユーザープロファイルには、追加機能の役割ベースのライセンスタイプを追加することができます。各プロファイルでは、当該プロファイルによって使用権が付与される機能に対してのみ、割り当てられているユーザーにアクセス権が付与されます。お客様は、Windchill 本番環境のライセンスプロファイルにユーザーを割り当てる必要があります。ユーザーを適切なライセンスプロファイルに指定しない場合、超過料金が生じる可能性があります。ユーザーのライセンスプロファイルを別のプロファイルへと遡及的に変更することはできません。

標準的な権利

すべてのサブスクリプションには、1つの本番インスタンスと1つの非本番インスタンスへのアクセス権が含まれています。非本番インスタンスは、購入時に追加することができます。1つのサブスクリプションは、1つの本番インスタンスのみを有することができます。例えば、互換性のない構成を必要とする異なる事業部門をサポートするために、お客様が複数の本番インスタンスを必要とする場合、それぞれに別の本番インスタンスが必要です。お客様は、各インスタンスの URL プレフィックスを指定し、また PTC が提供する利用可能なオプションのセットから非本番インスタンスの URL サフィックスを選択することができます。お客様が提供するドメイン名には対応していません。

パブリッシングの権利

お客様は、サポートされる Microsoft Office アプリケーション (<https://www.ptc.com/en/support/release-advisor> で検索可能な該当する Windchill+ バージョンのサポートマトリックスで指定されています) 用のパブリッシング機能を利用することができます。ただし、1 カ月あたり Author ユーザーあたり 300 パブリッシングジョブ (すべての Author ユーザーで測定) を上限とします。

お客様は、サポートされる Creo バージョン (<https://www.ptc.com/en/support/release-advisor> で検索可能な該当する Windchill+ バージョンのサポートマトリックスで指定されています) 用のパブリッシング機能を利用することができます。ただし、1 カ月あたり Designer ユーザーあたり 125 パブリッシングジョブ (すべての Designer ユーザーで測定) を上限とします。その他の CAD アプリケーションについては、お客様は、パブリッシングが必要なユーザー数および環境に基づいて、当該 CAD アプリケーションごとにパブリッシング容量を購入する必要があります。

この上限を超えて使用された追加のパブリッシングジョブ (Microsoft Office 用と CAD アプリケーション用の両方) は、契約年単位で超過分として請求されます。

「SaaS Windchill Migration Environment」を購入されたお客様は、マイグレーションによって生じた追加のパブリッシング需要は、当該ドキュメントの最新リリースバージョンでない限り、制限に算入されます。例えば、お客様がマイグレーションによって生じたパブリッシングジョブを持ち、そのジョブが該当するドキュメントの最新バージョンである場合、そのパブリッシングジョブは制限の対象とはなりません。

お客様が本サービスと共に第三者 CAD ソフトウェアを使用する場合、中立フォーマットのビューアブルを生成できるよう、本サービスと共に第三者ソフトウェアを PTC がインストールし、実行することが必要になります。この場合、当該の第三者ソフトウェアを PTC がお客様用にインストールし、実行するために、お客様は、本サービスと同時に実行される第三者 CAD ソフトウェアが当該ソフトウェアのお客様のライセンスファイルにアクセスできるように、お客様のライセンスサーバーへの VPN アクセスを PTC に提供する必要があります。お客様は、PTC が当該第三者 CAD ソフトウェアを本サービスと並行してホスティングすることについて、第三者 CAD ベンダーから承認を得るものとし、PTC が当該アプリケーションを本サービスと並行して展開するために必要なすべてのインストールメディア及びファイルを提供するものとしします。

データストレージの権利

ボールドコンテンツ用データストレージ: お客様には、下表で特定されているとおり、役割 (すべてのライセンスに渡って測定されます) に応じて登録ユーザーごとにボールドコンテンツ用データストレージの権利が付与されます。また、必要に応じて、ストレージの追加容量を 1 TB 単位で購入できます。お客様が使用权を持つストレージの総容量は、有効な PTC サブスクリプションのある、お客様の使用上の要件に対応するために PTC により割り当てられたすべての PLM SaaS 及びマネージドサービス環境 (本番及び非本番) で共有されます。

ユーザータイプ	ユーザーごとのデータストレージの割り当て
Author (with Designer)	100 GB
Author	20 GB

Contributor	0 GB
Viewer	0 GB

データベースストレージ: Windchill+ サービスには、ユーザーごとのデータベースストレージの割り当て (Author は最大 2GB、Contributor は最大 1GB、Viewer には割り当てなし) が含まれ、お客様環境すべてにわたる総計で測定されます。お客様の割り当て分を超えるデータベースストレージの消費は、超過したストレージのその時点の PTC の定価に基づき請求されます。

追加ストレージ: お客様は、データ移行及び/又はシステム統合のために、追加のストレージ容量を購入する必要があります。

Windchill+ Medical Device

Windchill+に適用される上記のすべての条件に加えて、Windchill+ Medical Device オファリングには以下の追加条件が適用されます。

USDM Life Sciences は、GxP 業界で 20 年以上の経験を持つ信頼できる PTC パートナーです。詳細については、<https://usdm.com> を参照してください。

USDM Baseline Assurance Package は、医療機器用の基準となる標準仕様の構成済み SaaS ワークフロー及びそれに使用される基本機能が、基準となる使用目的に対して、期待通りに稼働することを保証するために開発されました。このプランでは、PTC がお客様のために医療機器用の SaaS 環境を構築した際の展開プロセスも検証しました。Baseline Assurance Package は、お客様が FDA の 21 CFR Part 11 及びその他の世界標準のコンピュータシステム検証要件を満たす能力を促進します。

Baseline Assurance Package には、毎年更新される USDM Vendor Audit and Assurance Report (ベンダー監査・保証報告書) も含まれます。Baseline Assurance Package は、Windchill+ Medical Device の基本ライセンスに含まれています。お客様固有の検証成果物は本オファリングには含まれず、お客様の責任で作成するか、USDM などの適格なサービス・パートナーと契約して作成することができます。

ライフサイエンス企業は、ベンダーの製品やサービスが適用される規制要件に適合していることを確認する責任を負いますが、この Baseline Assurance Package は、USDM が実施したベンダー監査の結果と合わせて、PTC の手順を証明する文書として活用することができます。

Windchill+ Medical Device オファリングは登録ユーザーベースで契約されます。購入可能な登録ユーザープロフィールには以下の種類があります: Read & Approve、Contribute、Author です。Medical Device role-based add-on は、Windchill+ Medical Device Author ライセンスと組み合わせてのみ使用できます。Windchill+ Medical Device Author と Windchill+ Select Author を組み合わせることはできません。さらに、Windchill+ Select ライセンスを Windchill+ Medical Device ライセンスと実質的に同等の機能で使用することはできません。例として、Windchill+ Design Lite ライセンスを Windchill+ Design Control ライセンスの代わりに使用することはできません。

ThingWorx Navigate for Windchill+

はじめに

ThingWorx Navigate for Windchill+ オファリングでは、Windchill+ インスタンスへの接続が含まれるほか、追加料金をお支払いいただくことにより、ERP や CRM など外部のオンプレミスシステム及びクラウドシステムとの統合のサポートが含まれます。

オファリングに関する基本事項

ThingWorx Navigate for Windchill+ は、別途購入可能なオプションサービスが付属している標準サービスパッケージとして入手できます。ソリューションには、お客様固有の要件に対応することを目的とした、各種のソフトウェア使用権、標準のクラウドサービス使用権のバンドル、及びアドオンクラウドサービスが含まれています。このソリューションは、Windchill+ オファリングに対する拡張として販売されます。

- ThingWorx Navigate for Windchill+ は、登録ユーザー、アクティブデイリーユーザー又はキオスクユーザー単位での契約となります。
- キオスクユーザーに基づくオファリングタイプでは、「View」プロファイルのみが割り当て可能です。登録ユーザー及びアクティブデイリーユーザーに基づくオファリングタイプに割り当て可能な登録ユーザープロファイルは、**View**、**Contribute**、**Connected PLM View**、**Connected PLM [Contribute]** の4タイプです。各ユーザータイプでは、当該のプロファイルで使用権が提供される機能に対してのみ、割り当てられているユーザーにアクセス権が付与されます。Contribute プロファイルには、View 機能へのアクセスが含まれます。お客様は、ThingWorx Navigate for Windchill+ の本番環境でユーザーを作成する必要があります。ユーザーの作成及び割り当てが管理されていない場合、予想外の消費量が記録され、それに付随する超過料金が生じる可能性があります。PTC は、システムで不適切に管理されているユーザーに関して責任を負いません。
- ThingWorx Navigate を Windchill+製品とともに使用しているお客様は、Navigate ライセンスを使用する権限のあるすべてのユーザー及びグループを、関連する Windchill+ライセンスと関連付けなければなりません。例えば、当該ユーザーのために ThingWorx Navigate View ライセンスを購入されたすべてのユーザーは、PTC Windchill+ View 及び Print Only License Profile と関連付けられたグループのメンバーでなければなりません。

ThingWorx Navigate for Windchill+の標準の使用権には、以下が含まれます。

- 単一の本番インスタンス及び単一の非本番インスタンス
- 含まれる環境ごとに、単一の ThingWorx Navigate for Windchill+ インスタンスと単一の Windchill+ インスタンスとの統合
- すべての購入済み環境で共有される 500 GB のストレージ割り当て
- すべての環境にわたる、暦年あたり合計 6 回の指名サービスリクエスト（追加購入のためのオプション）

また、以下の制限が適用されます。

- ThingWorx Navigate for Windchill+ のアプリケーションは、他のソフトウェアシステムにのみ接続できます。物理デバイスに接続するアプリケーションは、本サービスの構成要素として許容されません。
- ThingWorx Navigate for Windchill+ は、本サービスの構成要素として Microsoft Azure IoT Hub を含みません。
- 標準の構成要素（前掲）として含まれているシステム以外の追加的なシステムへの接続は、別途購入され、かつ見積書／製品スケジュールで定義されていない限り含まれません。

- アクティブデイリーユーザーライセンスとキオスクユーザーライセンスは、ライセンス数を超える状態での使用は許容されません。契約された数のユーザー又はキオスクユーザーのみが使用できます。
- ThingWorx Navigate for Windchill+の View ライセンスでは、以下のことがお客様に許諾されます。ThingWorx Navigate View アプリケーションにバンドルされるコンポーネントから得られる情報を表示すること
- 付属の ThingWorx Navigate View アプリケーションに固有の ThingWorx Navigate アプリケーションにバンドルされている ThingWorx Navigate コンポーネント（ウィジェット、形状及びテンプレート）を設定するために、ThingWorx Composer 及び ThingWorx の管理機能を使用すること
- 以下の基本的な Windchill 機能に制限された表示権限のある状態で Windchill アプリケーションに直接ログインすること
 - Windchill の検索エンジンを使用して、Windchill 管理の対象物を、メタデータ及び内容データ内においてキーワードで全文検索する機能
 - データ検索を実行し、Windchill 管理の対象物をメタデータの合致により探し出す機能
 - キャビネット／フォルダー内の情報分類構造から Windchill 管理の対象物を多角検索する機能
 - 前述の機能により検索された管理対象物を「プロパティ」ページで確認する機能。「プロパティ」ページは、Windchill 管理の対象物のメタデータプロパティを外形化し、対象物の一部としてファイル内容がある場合には、その CAD でないファイル内容をダウンロードする機能を提供します。
 - 対象物を印刷する機能
 - Creo View で表示可能物を開く機能及び 3D 表示可能物を開き測定する機能。ただし表示可能物のマークアップ機能は含まれません。
- お客様は、前掲の一覧に記載のない機能を使用してはならないものとします。正確を期するため具体的に述べると、ThingWorx Navigate ライセンスは、以下の操作を実行するための権限を、これらに限定されることなくお客様に付与しません。
 - PTC により販売されているソリューションにおいて情報を作成すること
 - ThingWorx のプラットフォーム 統合機能を以下の目的に使用すること
 - a. 情報を、ある PTC ソリューションから別のシステム（ファイルシステムを含む）にエクスポートすること
 - b. PTC 以外のソリューションからの情報を取得すること（これには ThingWorx Connected PLM のライセンスが別途必要です）
 - c. システムで情報を作成又は編集すること
 - d. ThingWorx Navigate アプリケーションにバンドルされているもの以外のコンポーネントが必要となるシステムとの統合環境を構築すること
 - ThingWorx プラットフォーム を使用して、ThingWorx Navigate アプリケーションにバンドルされているものに加えてコンポーネント（ガジェット、ウィジェット、形状又はテンプレート）を新規作成すること
 - ThingWorx プラットフォームを使用して、ThingWorx Navigate アプリケーションにバンドルされているもの以外のコンポーネント（ウィジェット、形状及びテンプレート）が含まれるアプリケーションを新規作成すること

- ThingWorx に対して、又は PTC が販売しているソリューションと通信するために ThingWorx Navigate アプリケーションによって使用される PTC Solution Extension レイヤーに対して直接アクセスすること
- 物的 Asset（資産）（例えば、物理デバイス、装置、及び製品）から直接的又は間接的に情報を取得及び／又は物的資産を制御するアプリケーションを作成するために、ThingWorx Platform を使用すること。物的 Asset（資産）に接続するアプリケーションの開発には、ThingWorx Platform のライセンスが別途必要である。
- 以下の Windchill 機能を使用すること
 - a. ワークフロー及びライフサイクル作業の項目に参加する機能
 - b. コンテンツファイルをアップロードする又はメタデータをどのような形であれ変更する機能
 - c. データを作成又は変更する機能

ThingWorx Navigate Contribute

ThingWorx Navigate – Contribute ライセンスは、ThingWorx Navigate View ライセンスに含まれるすべての機能及び Windchill Contribute License Profile に公開されたすべての機能をサポートします。

ThingWorx Connected PLM

このライセンスのユーザーは、カスタムアプリケーションを作成するために、並びに、PTC 及び第三者製エンタープライズシステムに接続し、接続されたシステムの情報を閲覧若しくは作成及び更新するために ThingWorx Composer 及び ThingWorx Mashup Builder を使用することができます。カスタムビューアプリケーションの各ユーザーは、カスタムビューアプリケーションに公開されるシステムからのコンテンツに対する表示、作成及び更新権限が必要です。例えば、Windchill に接続するカスタム Navigate アプリケーションを使用する各ユーザーは、カスタムアプリケーションの機能に応じて、ThingWorx Navigate View 又は ThingWorx Navigate Contribute ライセンス（若しくは Windchill+ の Author ライセンス）に加えてこのライセンスを保有していなければなりません。

ThingWorx Connected PLM ライセンスは、エンタープライズシステム（例えば Oracle ERP、SAP、CRM システムなど）に接続するため及び PTC の Windchill+ 製品に接続するためのみに使用できます。いずれもコネクテッド製品やウェアラブル（装着可能な）端末、生産機械及び物的資産などのデバイス及びデバイスが接続されているあらゆるエッジサーバー又はエッジサービスからのデータにアクセスするためには使用できません。また、お客様の社内にある生産施設やお客様の供給業者の生産施設に属している生産システム、生産プロセス、及び／又は生産作業に接続するために使用することはできません。ThingWorx Connected PLM は、ThingWorx サーバーのインスタンスごとに 1 つの Connected PLM Base を前提条件とします。